

# 神宮外苑地区の再整備について

平成26年5月7日

平成23(2011)年度

## 神宮外苑地区全体

12月 ●「2020年の東京」の中で、神宮外苑地区をスポーツクラスターとして整備していくことを位置づけ

24(2012)

1月 ●地権者\*による再整備の検討会をスタート  
 (\*：明治神宮、日本スポーツ振興センター、三井不動産、オラクル(米国のソフトウェア企業)、伊藤忠、TEPIA(経産省の所管団体))

25(2013)

6月 ●神宮外苑地区地区計画の都市計画決定

9月 ●2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定

27(2015)

10月 ●新国立競技場建設工事開始

30(2018)

3月 ●新国立競技場竣工

31(2019)

10月 ●ラグビーワールドカップ開催

32(2020)

7月 ●オリンピック・パラリンピック開催

33(2021)～

● 非開示

## 国立霞ヶ丘競技場

3月 ●国立競技場将来構想有識者会議(第1回)開催

11月 ●新国立競技場基本構想国際デザイン・コンクール最優秀賞決定

# 都宮外苑地区の再整備について

平成26年5月7日

## 《ラグビーW杯、オリンピック開催時》

### 〈再整備イメージ〉

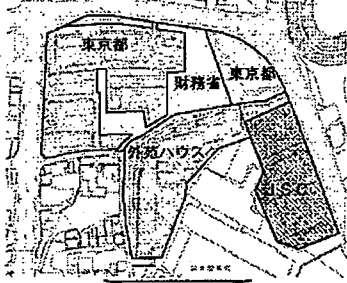
バリアフリー化  
広幅員化

人工地盤の整備

公園の拡大

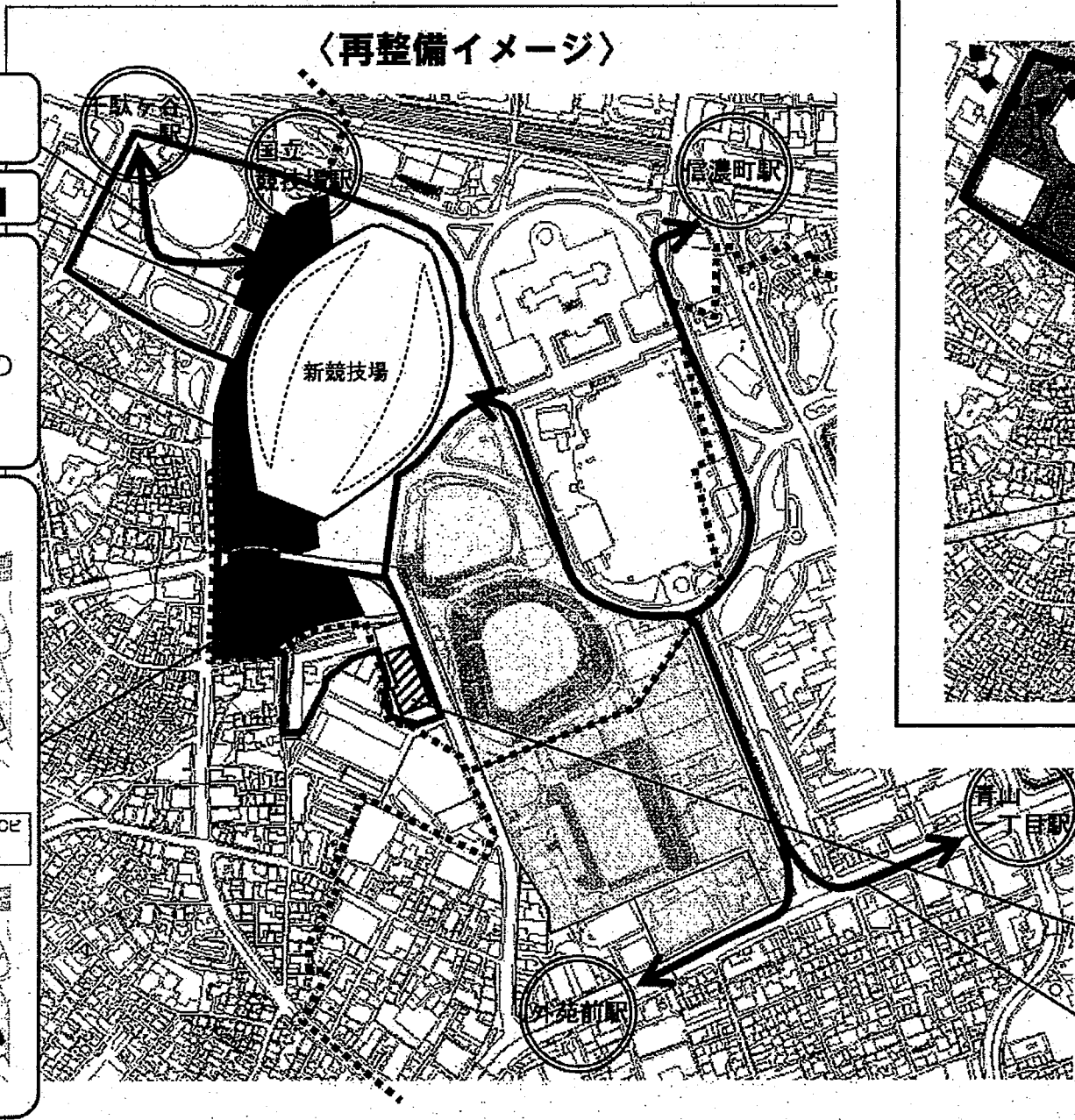
- ・立体公園化
- ・公園を補完する広場の整備
- ・霞ヶ丘住宅の公園化

現状

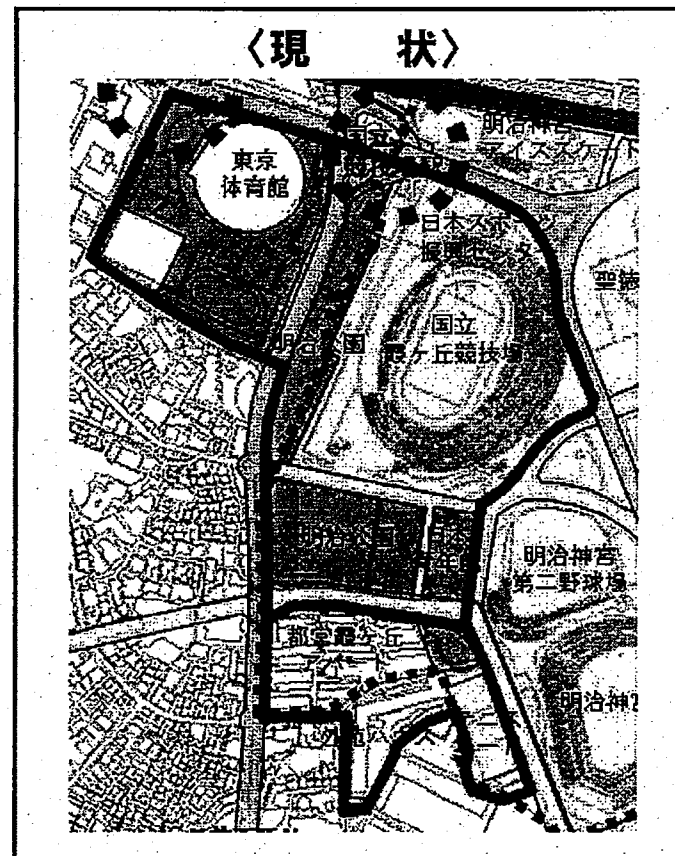


再整備後(イメージ)

日体協ビル、JSCビルを建設



### 〈現 状〉



スポーツ関連団体  
施設の整備

歩行者空間の確保

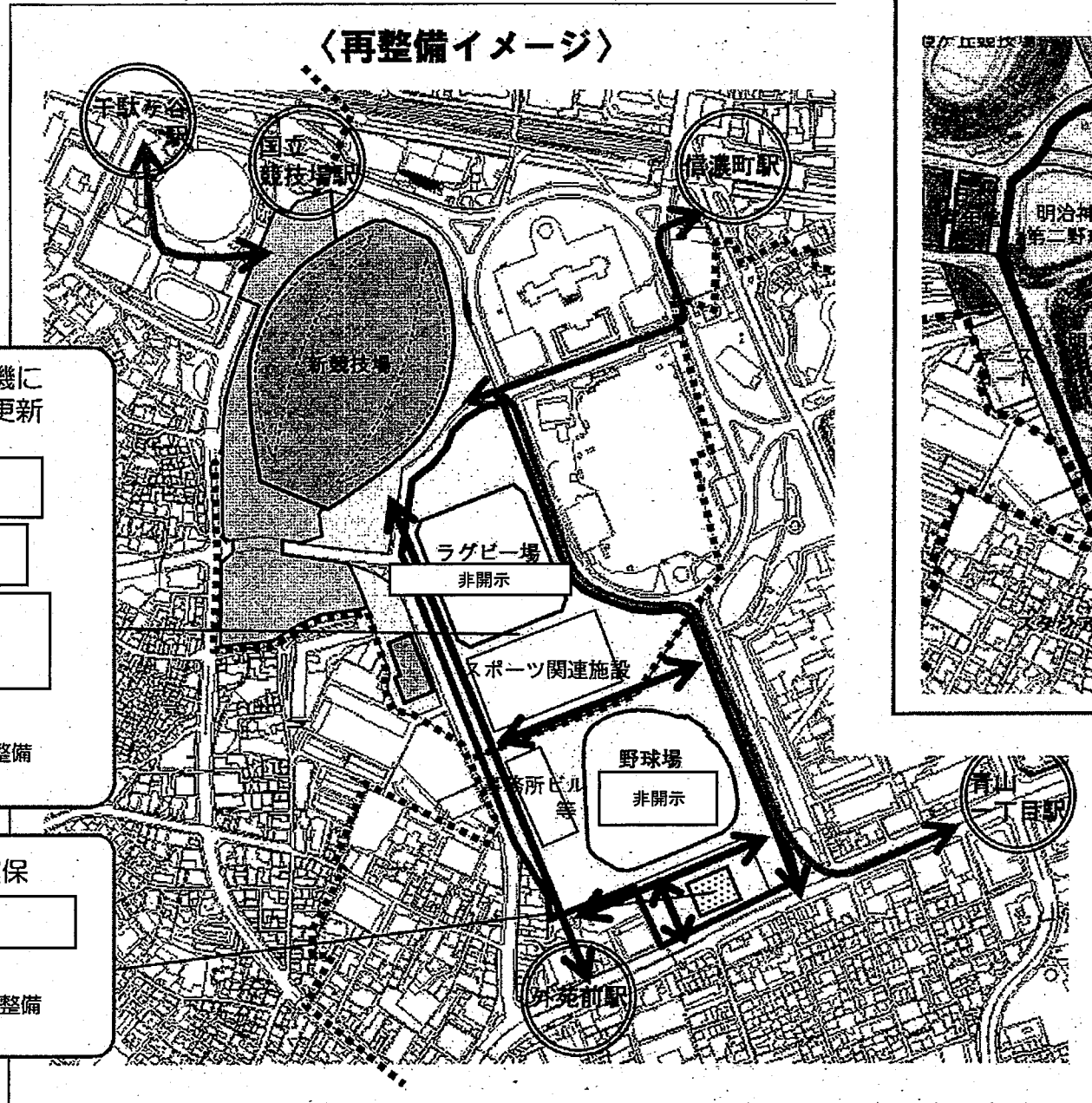


# 社宮外苑地区の再整備について

平成26年5月7日

## 《オリンピック開催以降》

### 〈再整備イメージ〉



競技場建設を契機に  
スポーツ施設を更新

非開示

非開示

非開示

↔ 歩行者空間の整備

歩行者空間の確保

非開示

↔ 歩行者空間の整備

### 〈現 状〉

